

従業員の健康増進

取り組み	取り組みの詳細
健康診断	健康診断の項目は、法定を上回る項目内容で実施しています。また、全社で統一した判定基準をもち、事業所や健診機関が異なっても、同じ判定結果に基づいた事後措置を実施しています。要再検査や要精密検査となった対象者には、産業医や看護職が個別に指導し、受診勧奨の他、必要時、専門医への紹介受診に繋がっています。 【特徴的な健康診断・歯科健診の内容】 ・ドック健診:40歳以上を対象、法定項目21項目+11項目 *40歳時は上記に加えB・C型肝炎、胃がんリスク検査を健診と同時に実施 ・婦人科検診:年齢別に検診項目を設定 ・前立腺がん(PSA)検診:50歳以上男性対象 ・歯科健診:全従業員が対象、歯科衛生士による保健指導を実施
保健指導 特定健康診査(特定健診)、 特定保健指導への対応	40歳以上の従業員に対し、定期健康診断と共にメタボリックシンドロームに着目した特定健診を行います。生活習慣病リスクが高いと診断された場合、リスクの度合いに応じて階層化し、健康保険組合と健康サポート室の専門スタッフが生活習慣を見直す保健指導を行います。中でも積極的支援が必要な場合は、健康保険組合と人材開発センターが勧奨を行い、社内専門スタッフに加え、外部業者とも協力して生活習慣の見直しを支援しています。
健康診断データ解析	部門横断プロジェクトを発足し、健康診断の結果やレセプトデータの分析情報を活用したデータドリブンな健康経営を促進しています。複数の専門部門が連携し、従業員の健康施策を充実するだけでなく、医療費の適正化に繋がる洞察を得ることを目指しています。
感染症対策	2020年よりインフルエンザワクチン接種の全額・会社費用負担を決定し、各事業所での予防接種を実施しております。2019年と比較し、2023年の接種率は30%から63%と大きく上昇し、インフルエンザ罹患による従業員数は196名から32名へ、休業日数は765.5日から137.5日へと大幅に減少しています。
健康ポイント付与 (健康行動の習慣化)	当社はコロナ禍での外出自粛により従業員肥満率が25%を超える健康課題を認識し、健康行動の習慣化に向け、2022年にGENKIナビに健康ポイント機能を追加しました。2023年には参加申込者が1,000名を超え、満足度は90%以上でした。2024年には健康ポイント獲得ミッションに社内コミュニケーションや禁煙を追加し、他者へのポイントプレゼント機能も導入しています。

内容	取組みの詳細
環境づくり (健康行動の習慣化)	2023年4月に移転した蔵前本社には、各フロアに健康行動の習慣化に向けた環境づくりを行っています。   
健康白書「GENKIレポート」発信 (ヘルスリテラシーの向上)	従業員の健康状態や予防・健康づくりへの取り組み状況等を経年的かつ全社平均との比較を見える化した健康白書「GENKIレポート」を2022年より毎年発行し、各事業所の健康管理責任者、産業保健推進者と共有しています。「GENKIレポート」はDX部門と連携し、事業所や組織毎にレーダーチャートを用い、ランクアップへの目安人数を記載するなど、自組織の健康状況を把握し、健康増進活動への活用を目指しています。  GENKIレポートのサンプル

内容	取組みの詳細
50歳健康づくりセミナー	2013年から満50歳の従業員を対象に半日の健康セミナーを実施しており、2022年よりオンライン形式に変更した結果、参加率が上昇しました。参加者の約9割が全コンテンツを理解できたと回答し、具体的で分かりやすいという理由により、満足度は88.1%に達しています。 オンラインセミナー ・年代特有の健康課題 ・有事を支える保険制度 ・キャリアプラン ・マネーリテラシー  動画視聴 ・がん予防 ・生活習慣病予防 ・フレイル予防 ・年代特有の口腔健康課題 セミナーの概要
女性特有の健康課題への取り組み	2024年より外部相談窓口の開設、社内の新規事業との提携を通じ、月経や女性特有の身体の困りごとなどに対し匿名相談とセミナーを実施。延べ145名が参加し、満足度は93.2%でした。
男性特有の健康課題への取り組み	2023年に更年期や妊活、人には聞きづらい困りごとをテーマに、匿名で参加できるセミナー及び医師に相談できる機会を設けました。リアルタイムでは、延べ172名が参加しました。